

「緑立つ道 編集室」のホームページが新しくなりました。
「並木フォトコレクション」など新しいコーナーをはじめ、紙面だけでは紹介しきれなかった情報をご覧いただけます。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/> このページが印刷

① 京都 人形の寺に伝わるお雛さま

春の特別公開「雛と寺宝」展
宝鏡寺
ほうきょうじ
www.hokyoji.net/
京都市上京区寺之内通堀川東入

宝鏡寺は代々、歴代皇女が住持を務めた門跡寺院。今春の特別公開では、光格天皇ゆかりのお雛さまが見られます。有職雛には珍しい濃紫(ごき)袴姿で、若い夫婦を表したものです。

075-451-1550
1月14日～4月3日 10時～16時
無休
600円
約2台(周辺の民間駐車場または二条城駐車場等を利用のこと)

オススメドライブコース
巨椋池IC→油小路通→堀川通

Casual Trip

思い立ったらぶらっとドライブ

優雅なお雛さまに出会えるまちへ
「緑立つ道」で快適アプローチ!

1 宝鏡寺
2 日本玩具博物館
3 近江商人屋敷
4 彦根城博物館

連絡先
開館日時
定休日
料金
駐車場

③ 近江商人屋敷など5館

「商家に伝わるひな人形めぐり」
おうみしょうにんやしき
www.biwa.ne.jp/~akinal/
滋賀県近江江市五箇荘

近江商人発祥の地・五箇荘地域には商人の本宅が残っています。その内の4軒で代々受け継がれてきた雛人形が見られるほか、近江商人博物館でも華やかな衣裳をまとった明治期の有職雛などが特別公開されています。

0748-48-2100 (五箇荘観光協会)
2月1日～4月9日 9時30分～17時(入館は16時30分)
月曜(祝日の時は開館)、祝日の翌日休
800円(5館共通入館料)
五箇荘観光センター、観光案内所駐車場・約100台ほか

オススメドライブコース
久御山J.C.T→京滋バイパス→名神高速道路八日市I.C→国道421号→国道8号

② 兵衛 雛人形が伝える時代と人々の夢

「雛と雛道具」展
日本玩具博物館
にほんがんとくはくぶつかん
www.japan-toy-museum.org/
兵庫県神戸市東灘区野崎中野671-3

江戸時代中期～昭和中期の雛飾り約50組を展示し、時代によって移り変わるようすに注目します。作られた時代背景や雛人形に託された人々の夢が垣間見られることでしょう。

0792-32-4388
2月4日～4月11日(入館は6時30分まで) 10時～17時(入館は16時40分)
水曜休(祝日の時は開館)
500円
約40台

オススメドライブコース
久御山J.C.T→大山崎J.C.T→吹田J.C.T→中国自動車道福崎I.C→国道312号

④ 彦根 お姫さまの嫁入り道具を再現

「雛と雛道具」展
彦根城博物館
ひこねじょうはくぶつかん
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/
滋賀県彦根市金亀町1-1

井伊直弼の二女・弥千代が興入れした時に持参した雛人形と雛道具、計85点が見られます。雛道具は実際の婚礼調度のミニチュアで、櫛台の引き出しの中には櫛やかみりも入っているという精巧さです。

0749-22-6100
2月10日～3月14日 8時30分～17時(入館は16時30分)
無休
500円
城内に駐車場あり・約80台

オススメドライブコース
久御山J.C.T→京滋バイパス→名神高速道路彦根I.C→国道306号→国道25号

再発見

北河内+再発見

きたかわら+ぶらっとさいはっけん

北河内の独占鋳物師田中家<枚方>

許認可業だった鋳物業
金属の加工技術には、大きく分類して鍛造と鋳造があります。鍛造とは金属を熱して柔らかくしたものを叩いて形にする技術で、日本刀や包丁はこの方法で作ります。もうひとつの技術が、金属を溶かして鋳型に流し込む鋳造で、昔の鍋や釜、梵鐘(釣鐘)や貨幣がこの方法で作られました。これらは鋳物とよばれ、作る職人は鋳物師とよばれました。江戸時代、鋳物師は幕府の直轄地である江戸・京・大阪の三都市などの例外を除いて、公家の真継家によって統括されていました。鋳物業は幕府ではなく真継家から許

可を受け、営業が許される特殊な職業でした。真継家配下の鋳物師には営業許可証が交付され、特定地域での独自の営業権が保証されていました。

田中家は河内一の鋳物師
江戸時代、真継家から許可を得た鋳物師は河内国内に数軒しかなく、その中で河内国を代表する「河内国惣官鋳物師」という称号を得ていたのが田中家でした。田中家は京街道枚方宿の東にある小高い丘の上にあり、現在は、樹齢約700年の大きな榎の木が残っています。

田中家は北河内で唯一の鋳物師だったので、この地域のすべての鍋や釜を独占販売していました。注文があれば、青銅製品も鋳造し、寺の梵鐘も作っていました。

現在、枚方市内では観音寺(瀧院跡)の梵鐘のみが残っています。

田中家の工場と住居を移築
長年、北河内の鋳物製品を独占販売していた田中家でしたが、明治時代に入り真継家の鋳物師支配が崩れるとともに、鋳物製造も自由競争の時代になり、昭和30年代には廃業となりました。江戸時代の鋳物工場は全国でも珍しく、同家の住宅とともに解体され、昭和54年(1979)枚方市藤阪の土仁公園に移築復元。大阪府の文化財指定を受け、枚方市立田中家鋳物民俗資料館として公開されています。

枚方市立 旧田中家鋳物民俗資料館
枚方市藤阪天神町5-1
TEL:072-858-3757

緑立つ道

みんなで作る・みんな育てる

野放図な開発を防ぐため、沿道まちづくりに市民が立ち上がった!
四條畷市砂地区まちづくり協議会

並木図鑑: ハナミズキ / 「みどり」と「みち」のデザイン: 門真市域 / Casual Trip: ひな祭り / 工事現場REPORT / どごまでできた? 「緑立つ道」 / 北河内+再発見: 北河内の独占鋳物師田中家<枚方>

Vol. 53
2006.2
四條畷市砂地区にて

工事現場 REPORT

門真市内の「緑立つ道」ではどんな工事をしているのですか?

真市内で行われている工事の中で、上島頭・下島頭と横地の間は地盤改良を行っています。この一帯はかつての河内湖の湖底であり、水分の多い軟弱地盤です。この上に盛土をすると、地盤沈下が起こるおそれがあります。このため、地中の水分を吸い上げるためのプラスチック製ボードを多数埋め込み、その上に水分を吸収するサンドマットを敷き詰めるという工法を用いています。

■プラスチックボードドレーン工法
プラスチックボードは、プラスチックの芯体に透水性のフィルターを貼ったもので、ストローを束ねたような構造になっています。これを機械で地中に打ち込むことで、地中の水分が毛細管現象によって地上に吸い出されます。

■サンドマット工法
プラスチックドレーンを打ち込んだ粘土地盤の上に透水性の良い砂や砕石を敷くことで、効果的に排水ができます。また、上からの圧力による圧密の促進も期待できます。

■地中連続壁工法
道路が地盤沈下すると、隣接する土地も沈下する可能性があります。そのため、すぐ近くに住宅がある場合は地中連続壁を建てて、影響が広がらないようにします。

「緑立つ道」
住宅地
強制排水用壁
水分
連続地中壁
盛土
沈下
水分
サンドマット
水分
フィルター
プラスチックボード
多数量り込まれたプラスチックボードドレーン
コンクリート製の地中連続壁はH型鋼で補強します

「緑立つ道」はここで入手できます。

- 国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所
枚方市南中區3-2-3
電話: 072-833-0261 (代)
- 西日本高速道路株式会社 関西支社 枚方工事事務所
枚方市東田宮2-6-1
電話: 072-846-2231 (代)
- みちまちスクエアア2
大阪駅前第2ビル地下2階 (JR北新地駅東改札口付近)
電話: 06-6342-4401
- みちまちスクエア長堀
クリスタ長堀(地下鉄都堂筋心斎橋駅付近)
電話: 06-6282-2010

ホームページへのアクセス
お待ちしています。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/>
国土交通省 浪速国道事務所

<http://www.w-nexco.co.jp/>
西日本高速道路株式会社 枚方工事事務所

道についての情報は「道の情報」にお問い合わせください。
0120-106-497
(フリーダイヤル)

R100
自動車専用道路100%完全立体化

第8回「緑立つ道」ハイキング

みなさんのご意見を
お聞かせください。

実感しよう! 第二京阪道路「緑立つ道」

に多くのおみなさんが参加されました。

□ メイン会場: いきいきランド交野
平成18年1月21日(土)、交野市の工事現場と文化財調査の現場を見学するイベントを開催し、約700名のおみなさんに参加していただきました。寒い中、多数のご参加ありがとうございました。

□ 交野市倉治地区の工事現場会場
□ 交野市青山地区の上私部遺跡会場

いきいきランド交野のメイン会場からシャトルバスで移動し、多くの方が建設の進む現場を見学されました。

この地区では古墳時代の大集落遺跡が発見されました。6世紀には大和王権と関わりが深い有力な人々が暮らしていたと考えられています。

発行: 国土交通省 浪速国道事務所 / 西日本高速道路株式会社 枚方工事事務所

野放図な開発を防ぐため、沿道まちづくりに市民が立ち上がった！

「緑立つ道」は、両側に緑豊かな環境施設と地域のための副道を備えた道路です。しかし、その豊かな緑も沿道の環境が悪く生かすことができず、せっかく整備しても地域の人が誇れる環境はつくりだせません。このような中、四條畷市砂地区の市民が地域の環境を守ろうと立ち上がりました。そして、住民みずから「まちづくり協議会」を発足し、住民による自主協定を策定するなど、積極的な活動をされています。その取組についてお話を伺いました。

四條畷市砂地区まちづくり協議会

「緑立つ道」の工事が進み、国道170号の西側には大型商業施設ができるという話が持ち上がったのに、四條畷市砂地区では望ましくない施設の進出が目立ち始めました。このままでは、望まない施設の増加や乱開発が起きるのではないかと心配が持ち上がりました。四條畷市に相談したところ、まちづくりアドバイザーとして財団法人大阪府都市整備推進センターを紹介され、その協力を得ながら組織づくりを始めました。平成16年11月には、地権者と自治会、実行組合の役員からなる「四條畷市砂地区まちづくり協議会」を発足。地域の環境を守る自主的な組織をスタートするとともに、住民による自主協定「まちづくり申し合わせ書」を策定しました。



環境保全地区の看板を設置

「平成17年4月、砂地区内の5カ所に「環境保全地区」の看板を設置しました。これは、砂地区でまちづくり協議会が発足したこと、その設立趣旨を一般の方にも知ってもらうためのものです。ここでは、地区内で土地の売買や用途転換をする際には、まちづくり協議会に知らせてくださいと告知しています」



環境保全地区とは、地区内の開発をまちづくり協議会で監視するエリアのことです。

機関紙「砂地区だより」を発行



「地域のみなさんに、砂地区まちづくり協議会の活動を知ってもらうために機関紙を発行しています。その中には協議会活動内容だけでなく、砂地区の歴史や風習を紹介した「砂時計」というコラムも掲載しています」

まち講座を開催

「平成17年7月27日、砂公民館でまち講座「砂村歴史の語り合い会」を開催しました。元四條畷市教育長の さんを招いて、砂村の歴史をお話しいただきました。当日は小・中・高等学校の先生も参加されました。砂村は四條畷市でも古くからある村で、村や祭りのいわれをお聞きしました。その地域の歴史を知ることで地域への関心や愛着を持ち、地域を愛する心を育てることができると感じました。今後も学校と協力して、まち講座を進めたいと考えています」



さん「子どもたちに未来の絵を描いてもらおうと計画しています。子どもたちに夢を持ってほしいですね」

さん「地域のみなさんの意見をくみ取るためにタウンウォッチングなどを行いました。さらにアンケートも行い、その結果を反映させていこうとしています」



さん「地権者にとって、協定書に同意することは建物の形態まで制約され、自分の手足を縛ることで。しかし、砂地区の将来を考えると、長い目で見て協力するべきだと考えています。砂地区を孫に誇れるようなまちにしていきたいのです」

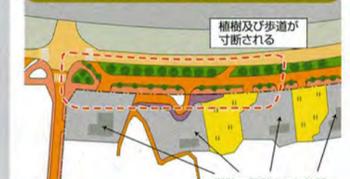
財団法人 大阪府都市整備推進センター 都市整備事業部調査計画課

さん



「地域を活性化するには良好な施設の誘致が必要です。このためには、地域の環境を良好にしておかなくてはなりません。市街化調整区域内の道路沿いでは、廃材置き場なども時折見受けました。逆に、地域のみなさんが協力して美しいまちをつくられている所もあります。まちづくりを考えると、「子や孫に自慢できるまち」がヒントになると思います。当センターはまちづくりアドバイザーとして、みなさんのご相談を受け、まちづくりをともに考えていきます。ぜひ、ご相談ください」

放置した場合・単独開発の場合



1カ所でも単独で開発された施設ができると乱開発が進む

計画的まちづくりを実施した場合



道路と周囲の商業施設が一体として、緑量に整備される

隣接した小路・国守町地区でも、まちづくり協議会が発足

「四條畷市砂地区と隣良川をはさんで隣接する寝屋川市小路・国守町地区でも、望ましくない施設の立地抑制や将来のまちづくりを考える「寝屋川市小路国守町地区まちづくり協議会」が平成17年7月31日に発足しました。今後は砂地区と同じく、協議会を通じて将来の土地利用のありかたを考えていく予定です」



寝屋では地域住民主導で計画的まちづくりが進む

「寝屋川市寝屋地区では、住民代表に寝屋川市、大阪府が協力して、沿道23haの開発が進んでいます。そのうち、7haではデベロッパーによる開発が計画されました。事業者の選定には、プロポーザル（設計提案）方式を採用。プロポーザルにあたっては、大型商業施設の誘致だけでなく、長期間にわたる地域の環境を保全することも要求されました」



寝屋地区の当初の計画。現在はエリアが広がっている

「大型商業施設と住宅からなる、緑あふれるまちづくりがスタートしました」



寝屋川市寝屋南地区土地区画整理準備組合 さん
「寝屋地区は寝屋川丘陵の緑が残る、自然豊かな地域です。ここに「緑立つ道」ができた時、周辺が乱開発されないかという心配がありました。そこで、業者任せではない開発の模索が始まりました。市やまちづくりアドバイザーの協力もいただいて、開発業者の設計提案を採用して、基本的なプランがスタートしました。これまでのような巨大開発ではなく、地域や周囲にある公園の景観とも協調できるようなまちづくりを皆さんと協力して進めているところです。この寝屋を、孫が胸を張れるようなまちにしていきたいですね」

「環境保全地区」看板の設置とタウンウォッチングから砂地区のまちづくりが始まった。



地域の状況を確認！

タウンウォッチングとまちづくりワークショップを開催

「平成17年4月27日、まちづくり協議会会員と、まちづくりアドバイザー、四條畷市役所から18名が参加し、まちを歩いて砂地区を見直し、将来の夢を語る「タウンウォッチングとワークショップ」を開催しました。地域を散策した後、公民館で話し合い会を開きました。砂地区の良いところ、悪いところについてさまざまな意見が出され、みなさんの前で発表しました。これらの意見を集約して、砂地区の計画的なまちづくり基本構想（案）を検討していきたいと考えています」



並木図鑑 ハナミズキ 花水 並木デジフォト あなたのまちのステキな並木写真大募集！

ホームページ [緑立つ道編集室]に掲載します。
ホームページ [緑立つ道編集室]が大幅にリニューアル！「並木フォトコレクション」のコーナーを新設しました。ここでは、並木図鑑の内容に加え、みなさんの並木写真投稿コーナーも設けています。
ホームページ「緑立つ道編集室」内の「並木フォトコレクション」コーナーにアクセスし、必要事項をご記入の上、撮影されたデジカメ写真のデータを添付してお送りください。
▼くわしくは、ホームページ [緑立つ道編集室]で。
<http://www.kkr.mlit.go.jp/haniwa/>

「みどり」と「みち」のデザイン 門真市域（完成予想図）



どこまでできた？「緑立つ道」

